

卒業おめでとうございます ~今まさに、わが力、わが誠世のためにつくさん、これぞ!~



令和6年3月22日発行
第58号 山形県立
米沢興譲館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

門出の言葉

卒業生代表

舟腰備太郎

(赤湯中出身)



新しい生活に、希望と不安を抱きながら入学したあの日から、早くも三年がたとうとしています。入学当初は新型コロナウイルスが猛威を振るっており、マスクの着用が義務化され友人の表情も分からず、食事は前を向いての黙食教室は静寂に包まれ想像していた生活とは程遠いものでした。しかし、今年度から制限が解除され、通常生活を行うことができるようになりました。私たちは自分たちの知らない当たり前の生活に戸惑いながらも、期待を胸に心躍らせていました。友人の表情がはっきりと見えるようになり、お昼休みも和気あいあい、学校中が常に活気に満ち溢れていました。

特に興譲祭では、制限のない一般公開と三年ぶりの屋台を行うことができました。三年生クラスが思考をめぐらせた屋台によって、中庭は大勢の人で賑わいました。一年生と二年生のクラス企画も相まって、三年間で一番の盛り上がりを見せました。

そのほかにも体育祭や合唱コンクール、初めて行った芋煮会などたくさんの思い出がありました。そんな中、一番の思い出となったのは何気ない日常生活でした。休み時間に会話してたくさん笑い、お弁当と一緒に食べたリ余計な心配をせずに全力で部活動に打ち込んだり、今までできなかった当たり前の生活を送ることができ、とても充実した一年となりました。

在校生の皆さん、今まで私たちについてきてくれてありがとうございます。部活動や委員会など苦しい時に皆さんが支えてくれたおかげで、乗り越えることができました。一緒に活動する中で皆さんの失敗があったと思いますが、それを糧に興譲祭の新たな歴史を創り上げていってください。

先生方、今まで私たちを導いて下さり本当にありがとうございました。学習指導をはじめ、時にやさしく時に厳しく、たくさんのご指導をありがとうございました。先生方から教わったことを胸に刻みこれからの人生を生きていきます。

そして、一番そばで支えてくれたお父さんお母さん、ありがとうございます。代表としてせないほど感謝のおもいでいっぺい。どんな時でも帰る場所があったから温かいご飯、自分でいられる家族がいたから頑張ることができました。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

最後に、この三年間を共に過ごした三年生の皆さんは私にとってかけがえのない存在でした。自治会長として辛いこともたくさんありましたが皆さんが支えてくれて応援してくれました。皆さんと過ごしたこの三年間は一生忘れません。今まで本当にありがとうございました。いよいよ旅立つ時間がやってきました。この学び舎での苦難を乗り越えてきた私たちなら、この先どこへ行っても強く生きていけると思います。

米沢興譲館の益々のご発展と、本日ご臨席いただきました皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。門出の言葉といたします。またいつかお会いしましょう。



はなむけの言葉

在校生代表

岩瀬 雄哉

(赤湯中出身)



例年になく暖かい日が続き、雪の少なかった今年。そして卒業を惜しむように雪が降る今日の佳き日に、山形県立米沢興譲館高等学校を卒業される皆様、誠におめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、三年間の興譲館での日々をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。

多くの時間を費やし、仲間と共に切磋琢磨した部活動。チームで何とか時間を捻出し、高みを目標として研究に励んだS.R。教科書、興譲祭、参考書に必死にならざるに耐え付いた勉強の日々。そしてクラスごとにさまざまな創意工夫をこなし、協力して競い合った体育祭、合唱コンクール、興譲祭。そんな数えきれない思い出がひとりひとり頭の隅を駆け巡っているのではないのでしょうか。

私達は、中学校から新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた世代でもありました。部活動の各種大会や学校行事の規模縮小や中止、マスクの着用、二密の回避など制約があり、思うような学校生活を送れなかった場面も多かったと思います。そんな中、私たちを支えてくれた先輩の姿は、とても大きな存在でした。

二年前の春、高校という新しい環境に希望と不安をもって入学した私達の目は、先輩方の姿がとても大きく見えました。入学して早々に始まった伝統の応援練習でも、応援団幹事の先輩方の気合に畏敬の念を抱いたと同時に、とても頼もしく見えたのを覚えています。

体育祭、合唱コンクール。そして三年ぶりに飲食店の出店が解禁となった興譲祭。それ以外の行事もクラス一丸となって、必死に果たし、日々学校生活においても先輩方は良き手本となってくれました。

また、日々の学校生活においても先輩方は良き手本となってくれました。部活動においては、少しでも良いパフォーマンスをしようと努力する先輩方の姿勢に多くのことを教えたいただきました。共に切磋琢磨したあの日々は私たちが在校生にとって一生の宝物です。これから先輩方はおひとりおひとりが新しい世界へと歩み出されます。変わり続ける社会でくじけそうになることも壁にぶつかってしまうこともあると思います。そんなとき、この学び舎で多くの時間を共有した仲間、先輩、後輩、先生方との思い出が先輩方の心の支えになることを祈っています。

家族、友達、家、食事は自分たちにとっての当たり前、当たり前ではなかったりします。当たり前からこそ、その裏にある多くの人による支えや多くの奇跡の尊さや大切さに気づきにくかったりします。わたしにはそのことに気づかされる瞬間がありました。一瞬一瞬の今を大切に、それぞれの新たな道への歩みを進めていってください。

いつも私たちを導き、手を示してくださった先輩方が卒業されてしまつのはとても残念ですが、先輩方に学んだ多くのことを糧に、私たちもこの米沢興譲館を良き学び舎へと築きあげていきます。最後になりますが、皆さんのこれからの進路における活躍とご健康をお祈り申し上げます。はなむけの言葉とさせていただきます。

2年 理数探究科・国際探究科 海外研修

理数探究科



私たち第二学年理数探究科は十二月三日から七日に台湾へ研修に行ってきました。初めての海外という人も多く、不安と期待が入り混じるなか、台湾へ出発しました。気候、法律、文化、最先端の技術を見て日本には経験することのできないものに触れて、自分の見えている世界が狭いということに気づかされました。国立台湾師範大学附属高級中学との、高いレベルの理数研究の発表交流を通して、課題研究や英語の面で良い刺激をもらいました。国際言語としての英語の重要性を認識できたことは今回の研修のなかでも大きな収穫だと思います。この経験を今回限りのものとしないうちに、これからの人生に活かしていきたいと思えます。

台湾で得たもの

二年一組 小形 武美
(白鷹中出身)



国際探究科

台湾での貴重な体験

二年一組 菅野 悦未
(赤湯中出身)

初めての海外研修でしたが、先生方の入念な準備のおかげで無事終えることができました。研修では、日本にはない食べ物や、九分などの観光地のような異文化に触れ、また、現地の高校生と交流しました。海外の高校生との対面交流は初めてで緊張しましたが、生徒の皆さんの温かい迎えがあり、安心して交流できました。国際探究科はホームステイを通して、各家庭で台湾でしかできない体験をさせていただき、一生の思い出となりました。研修の中で、コミュニケーション能力や英語の必要性を痛感し、また、世界を身近に感じ視野を広げることができました。この得難い経験を将来に生かしたいと思います。



2年普通科 関西キャリア研修

興味のあるものを学ぶ

二年三組 橋 本 恒 汰

(米沢一中出身)

今年度の五月に新型コロナウイルスが五類に移行され、様々な規制が緩和された中でキャリア研修が行われました。キャリア研修では一学年時に行われた研修旅行と少し違い、二日目は各課題研究班、三日目はクラス内で作ったグループで興味のある場所を訪れました。そのため、研修で得た知識を課題研究であったり、研修後の学びに大いに活かすことができました。また、物事の理由、原因は一つだけではないということも学びました。今回のキャリア研修で学んだように、物事を一つの視点から見るとは、様々な視点から見られるようにしたいです。



1年 東京探究研修

AIと人の医療

一年五組 梅 津 想 奈

(米沢四中出身)

私は医学的リハビリテーションを行う理学療法士を目指しており、三日間の東京探究研修で医療の最先端コースに参加しました。このコースでは、くすりミュージアムや東京大学定量生命科学研究所、そして興譲館OBで医師・脳科学者である紺野大地先生を訪れました。

紺野大地先生からは、AIによる医療やAIと脳の融合の研究などの講義を受け、AIの普及によって、医療のやり方が変化するとわかりました。一方、AIはどんなに進化しても患者の気持ちを理解することが難しいと感じました。

私にとって東京探究研修は、人が行う医療の重要性を認識するきっかけとなりました。この体験をこれからの人生に繋げたいと思いました。



第48回 全国高等学校選抜大会 フェンシング大会

北海道・東北予選会 男女 初の快挙アベック優勝!!



謝の気持ち
を忘れずに、
三月に長崎
県で行われ
る全国大会
でも精一杯
戦ってきま
す。



男女共に優勝という初の快挙を成し遂げられたのは、顧問の先生のご指導や、家族の支え、応援して下さった方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、三月に長崎県で行われる全国大会でも精一杯戦ってきます。

女子は去年の優勝校であるプレッシャーに加えて、私が直前に怪我をして出れなくなってしまうというハプニングもありましたが、一人一人が役割をしっかりと果たし、見事優勝することができました。男子は、予選は危なげなく突破し、決勝戦では去年圧倒的な力の差を見せつけられた高校に勝って、こちらも見事優勝しました。

男女優勝!
二年一組 山 水 仁 子
(宮内中出身)
私たちは一月に全国選抜大会北海道・東北予選に出場してきました。

令和5年度 大学入試共通テスト 激励会



令和5年度山形県探究型学習課題研究発表会

高等学校文化連盟科学専門部の部 最優秀賞

(令和6年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門 出場決定)

ガラスウール充填ポリプロピレン複合材料を用いた3D造形物の作製と物性評価(物理)
2年2組 横山 夢人(高畠中出身)

優良賞

身近な分子を機能性高分子に! ~ヒスチジン、クロロゲン酸を用いたサスティナブル高分子材料の作成~(化学)
2年1組 高橋 暁華(宮内中出身)

電気化学的手法による土壌細菌活性のその場常時測定法の開発(生物)
2年2組 二馬 良太(小国中出身)

一般の部 優良賞

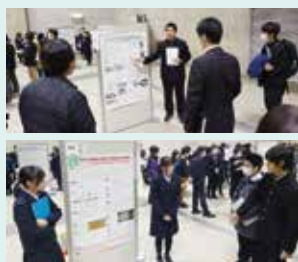
空気中の環境DNAを用いた哺乳類生息域調査
2年1組 二宮 菜緒(米沢七中出身)・2年2組 高橋 桜(米沢三中出身)

バクテリアによるコンクリートの自己修正機能の比較検討

- 2年1組 原 千夏(米沢四中出身)
- 2年1組 和久井 響(長井南中出身)
- 2年2組 横山 夢人(高畠中出身)
- 2年2組 横山光太郎(米沢六中出身)

インクルーシブデザインで広がる可能性

- 2年4組 舟山 心椰(高畠中出身)
- 2年5組 甲田彩香音(米沢二中出身)
- 2年5組 横澤 実莉(米沢二中出身)



令和5年度校内探究活動発表会

科学研究領域 最優秀賞

温泉を用いた温度差発電
2年2組 千葉 蒼天(米沢三中出身)

プロジェクト型領域 最優秀賞

Okitama Gender Innovation
~For All Generations~
2年1組 青木真友子(長井南中出身)
2年2組 須崎 志帆(赤湯中出身)

審査員長特別賞

表紙 2年4組 遠藤天爾使(米沢五中出身)
2年4組 我彦 友仁(米沢六中出身)

